

## 2030年の経営目標（環境目標）の見直しについて

九電グループは、低・脱炭素の業界トップランナーとして、社会のカーボンニュートラル実現に大きく貢献するため、2021年11月に「九電グループカーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」を策定し、2030年の経営目標（環境目標）を見直しました。

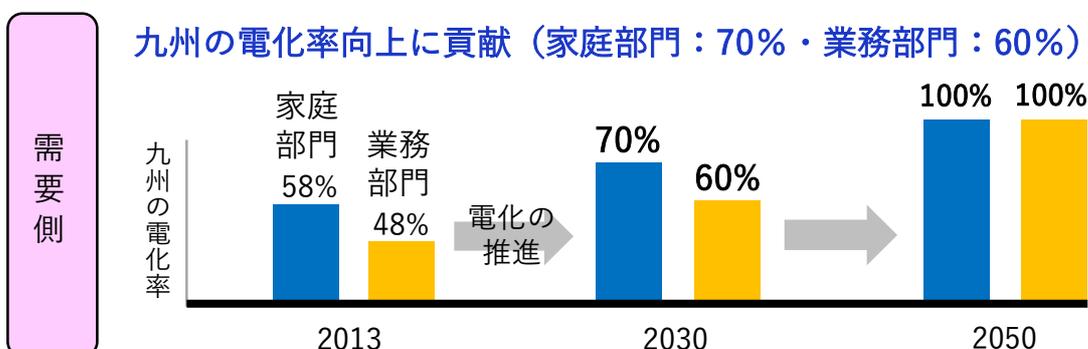
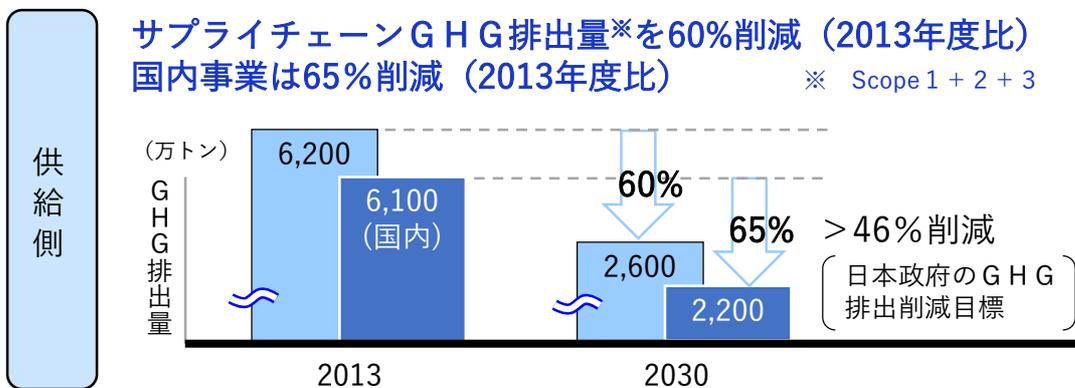
供給側の目標は、国際的な基準であるGHG※プロトコルに準拠し、九電グループの事業活動を通じたサプライチェーン全体のGHG排出の削減を設定しました。2013年度比で60%を削減し、そのうち国内事業については65%を削減します。

※ GHG (Greenhouse Gas) : 温室効果ガス

需要側の目標は、九州に事業拠点を置くエネルギー事業者として、九州の電化率向上を設定しました。2050年における家庭・業務部門の電化率100%を目指し、2030年時点で家庭部門70%、業務部門60%の実現に貢献します。

九電グループは、カーボンニュートラルをはじめとした経営環境の変化を変革のチャンスと捉え、更なる企業成長につなげていきます。

### 2030年の経営目標（環境目標）



- ・ 今回設定した環境目標は、従前の目標（自社の販売電力由来のCO<sub>2</sub>排出を2013年度比で約50%削減）に対し、排出削減対象をCO<sub>2</sub>に限定せず、サプライチェーン全体のGHGとしたうえで、2013年度比60%削減を目指すなど、上方修正しています
- ・ なお、従前の環境目標は、2019年6月に公表した「九電グループ経営ビジョン2030」の18ページ（上段）に記載しています

## 【参考】社会のカーボンニュートラル実現に向けて九電グループが目指す姿

### 九電グループは「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します

九電グループは、地球温暖化への対応を喫緊の重要課題と捉え、「サプライチェーンGHG排出量の削減」と「社会のGHG排出削減への貢献」を重視し、目指す2050年のゴールを設定しました。

電化の推進や再エネ開発などによる社会のGHG排出削減において、九電グループのGHG排出量を上回る削減効果を生み出すことで、事業活動による社会全体のGHG排出量をマイナスにする「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します。

### 〔九電グループが目指す2050年のゴール〕

- 事業活動を通じて排出されるサプライチェーン全体の温室効果ガス（GHG）を「実質ゼロ」にします
- 電化を最大限推進し、環境にやさしいエネルギーを安定的にお届けするなど、社会のGHG排出削減に貢献します
- これらの取組みを通じて、九電グループは「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します

